

平成30年第12回（11月）大玉村教育委員会定例会会議録

1 日 時

平成30年11月14日（水曜日）午前9時00分

2 場 所

大玉村農村環境改善センター2階 農事研修室

3 出 席 者

教育長 佐藤 吉郎 1番委員（教育長職務代理者）伊藤 忠和

2番委員 齋藤 雄一郎 3番委員 須藤 綾子 4番委員 高島 由美子

4 欠席委員

なし

5 説明のために出席した職員

教育部長 菊地 健 教育総務課長 橋本 哲夫

生涯学習課長 溝井 久美子 指導主事 佐久間 仁

地域おこし協力隊 佐藤研吾

6 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名委員及び書記の指名

日程第3 報告事項の承認

報告第1号 教育長の事務処理報告について

報告第2号 教育総務課の報告事項について

報告第3号 生涯学習課の報告事項について

日程第4 議案第20号 平成30年度要保護・準要保護児童生徒認定について

日程第5 今後の行事予定について

日程第6 その他

日程第7 次回委員会の日程について

7 議事内容及び経過

教育長 平成30年第11回教育委員会定例会を始めます。議事に入ります。

日程第1 会期の決定について。本日、1日限りでよろしいでしょうか。

教育委員 「異議なし」

教育長 会期は本日1日とします。

日程第2 会議録署名委員及び書記の指名について。

会議録署名委員に1番委員さん、4番委員さんをお願いします。書記については、教育総務課主任主査兼学校教育係、神野藤係長を指名します。

日程第3 報告事項の承認

報告第1号 教育長の事務処理報告について

10月19日から11月14日までの事務処理について主だったことにつ

いて報告します。

○10月19日、玉井幼稚園で福大の白石先生にお出でいただきまして、保育研究会を行いました。教育界の大きな流れというか、今、大玉で重視していきたい幼稚園と小学校のつながり、小学校と中学校のつながり、幼小中、おおたま学園構想ですが、それを実効あるものにしていきたいとの思いから実施したものです。今年から3年保育が始まったということもあって、それからいろんな所でお話していますが、大玉の立地条件というか、大山にも玉井にも併設の幼稚園があります。これからは小学校への就学予定者のほとんどが3年保育を終えた子どもが入学して来ます。ほかの自治体では考えられないことなのですが、特に今、幼児期の教育が非常に大事だと言われています。そういったことから、幼稚園と小学校をつないでいきたいということで、保育研究会も幼稚園の先生だけではなくて小中学校の先生にも参加して頂き、実り多い研究会になったということをご報告させていただきます。

○10月20日、大玉中学校文化祭。委員の皆様方の出席ありがとうございました。「あだたら祭」も少しずつ変わってきているなと思って見させていただきました。特に学年ごとの発表ですが、課題を見つけて探究してまとめる総合的な学習の大切なところをここにしっかりと位置づけられて来ているなと思いました。

○10月21日、隔年で実施しておりますあだたらの里フォーラム。関東あだたら大玉の会がありまして、会員数64名のところ、今年は36名の方が関東周辺からお出でくださいました。会員に入っている方、それから大玉村出身ではない方が多かったというのが今回の特徴で、交流を深めることができました。

○10月22日、関東あだたら大玉の会では「たまちゃん文庫」として、毎年幼稚園・保育所に図書の寄付をしていただいております。そこで、幼稚園の子ども達の様子を見ていただくため幼稚園を訪問していただきましたが、3歳児・4歳児・5歳児がそれぞれに工夫しまして歓迎しました。歓迎する子どもたちの姿に涙を流しながらご覧になっている方もおられまして、帰りのバスの中で「もっと何かしてあげたい」との話になって、図書購入の寄付を集めて寄贈いただきました。たいへん有意義な会になったと思います。

○22日、福島県教育復興を進める会事務局会。今年から私が事務局に入りました。福島大学が主に進めているのですが、事の発端は震災があった平成23年、次の年の福島県の教員採用をストップするということで、大学にとっては非常に危機感を持ちました。そこから福島復興をどう進めていけばよいかということで毎年行っています。毎年続けた方がいいだろうと3月に向けての計画を立てる会に参加してきました。

○10月25日、玉井小学校オープンスクールとコミュニティ・スクール委員会、去年からこういった方式でやっております。コミュニティ・スクール

委員会は全部で9回ありますが、そのうちの3回は各学校に特化したというか、その学校幼稚園の課題について話し合う委員会です。その前に小学校の「オープンスクール」と銘打って村内のすべての先生方に授業を見ていただき、お互いに研修というか、お互いに見合いながら先生方の指導力を高めていく、子ども理解を深めていくことを目的に実施しております。その後、小中それぞれのコミュニティ・スクール委員会で学校の状況を説明して、それをもとに委員さんに話し合いをしてもらって、学校の改善に活かしていきたいという内容でした。玉井小学校では、挨拶のあり方について、挨拶はできるけれど良くするにはどうすればよいか。それから、学習習慣を定着させるためにどうすればよいか。ふるさとの体験活動、人・物・事の関わりをどうしていくか。「おおたまを学ぶ」ということでやっていますが、そういったことの関わりを意識してのことだと思います。それから、体力向上。震災の後体力が低下しているのですが、様々な取り組みをして体力の向上が図られたといったことについての話題を基に話し合いをしていただきました。

因みに、大山小学校でのテーマは家庭学習習慣の定着、あいさつ・返事・進んで会話する、人との関わりをどうしたらよいか、それから基本的生活習慣、早寝・早起き・食事。さらに、幼稚園で3年保育が始まって、その状況について話し合いをしていただきました。大玉中学校では、家庭学習の質の向上。量的にはかなりやっているのですが、質をどう高めるかということが今課題になっています。それから、今村全体で取り組んでいますキャリア教育の充実を図るためにはどうしたらよいかということについて、話題提供をいただいてそれをもとにして話をしていただきました。それから、道德教育の充実。中学校では来年から本格実施となり、非常に課題のある中身ではありますが、それについての話題提供とそれに基づく話し合い。体力向上についてどうするか。食育についてやはり課題があると中学校で話題になりました。後で申し上げますが、こういったことを基にして1月の教育フォーラムに向けてどうしたらよいか、これから詰めていきたいと思います。

○10月27日、大玉村文化祭開会式。今年で36回目を迎えました。例年最初の子どもの発表が終わった後、参観者が急にいなくなってしまうという課題があったため、スケジュールを工夫したことで少しは課題の改善が図られたのかなと思います。小学校の合唱、中学校の吹奏楽部など、開会式にふさわしい発表だったと思います。

○10月28日、大玉村文化祭芸能発表会が行われました。

○10月30日、特別支援学校設置に係る打合せ会議ということで、急遽県教育委員会にお願いしました。7月11日に2回目の懇談会を行って、そのあと3市村の教育長3名で県の教育長に設置の要望書を持っていくということで内々に詰めていたのですが、動きが止まっているような状況だったものですから、現在の進み具合はどのような状況か、と県の特別支援課の課長以

下担当の方と3市村の教育長等で打合せを行ったところです。

○10月31日、県教育庁教育総務課副課長などにお出でいただきました。今、多忙化解消が本当に大変な状況にあります。その解決策に統合型の校務支援システムの導入があります。村でも導入しようと思っていますが、自治体が変わってバラバラなものになってしまったのではかえって使い勝手が悪いということで、県で統一のものにしていきたいと前々から要望していたのですが、その動きが出てきたということで、その導入のあり方について段取りを行いました。

○11月1日、大玉村表彰式がありました。今回27人と人数がたいへん多かったのですが、この年に採用された村職員が多かったことが要因の一つです。保育所を開設した年だったかと思いますが、幼稚園の先生方も4人受賞されました。

○11月2日、第2回川俣・伊達・安達臨時教育長会議。以前お話ししましたが、福島が採択地区から抜けるということになったものですから、新しい採択地区を作るため、その打合せを行ってまいりました。来年度に採択がありまして、その採択のシステムや日程などについて協議をして、これからさらに詰めていく必要があります。来年度は、小学校が32年度に使用する教科書の採択になりますが、道徳と外国語が入ってきますので、今までよりも増えます。教科書の役割というのがたいへん重要です。子ども達に力を付けられる良い教科書を選ぶためにどうしたらよいか、しっかりしたシステム・規程を作っていこうという会議でした。

○11月4日、第30回あだたら健康マラソン大会。申込者1000人ちょうどでした。詳しくは後ほど課長から報告があります。特に今回はゲストランナーとして、この度読売ジャイアンツのコーチになりました鈴木尚広選手、トライアスロンアカデミーの菊池日出子さんにお出でいただきました。鈴木選手には、前日に講演会もお願いし、当日はそれぞれ1年生の男子・女子と一緒に、その他にも何回か走って頂き、表彰式に臨んで頂きました。天候にも恵まれ、いい大会だったなと思っております。

○11月5日、ふくしま駅伝大会大玉村チーム結団式を行いました。お手元にリーフレットを用意しましたが、こういった形で去年の課題だった選手層も担当、監督の方で努力いただきまして、メンバー構成ができました。ただ、4区にエントリーしていました渡辺昂選手が仕事の関係で参加できなくなりまして、選手の交代は補欠をもって替えるしかなく、急遽コーチで補欠になっています武田智道選手が4区を走ることで最終調整を行っている段階です。

○11月6日、第2回夜間中学設置検討委員会。前に一度お話ししたと思いますが、各県に1校夜間中学を作りたいということが国の考えです。それをどうすればよいか、今、ニーズ調査を行っていますが、40名程度しかニ

ーズが無く、対象になるのが戦後の混乱期に中学を卒業できなかった人がメインで、大玉村にも何人かいます。それから外国籍の人。中学校の途中で学校に行けず終わってしまった人も対象にしていますが、ニーズが無い中でどうすればよいか、作らなくてはいけない状況なので、中学校ですから本来自治体でつくりますが、県立で作るという選択肢もあって、その方が現実的ではないかと意見を申し上げてきました。

○11月7日、「日本で最も美しい村」連合東北ブロック総会。今回は大玉村が当番となり、改善センターで総会を開催しました。弘前市に合併した旧岩木村が新しく加盟し全部で63になりました。この中で直売所の矢吹店長と森の民話茶屋の後藤みづほさんの事例発表と講演がありました。また、大正大学の清水先生が講師。元々国鉄に入っていた人なのですが、仕事は金儲けじゃないんだぞ、資源というのはどこにでもあるんだというお話をいただきました。

○11月8日～9日、東北町村教育長連絡協議会役員会に行ってきました。各県の情報交換などがあったのですが、一番話題になったのは多忙化に対してどう向かっていくかということ。それから、教員が非常に手薄になっており、それをどうしていったらよいかという話題になりました。

○11月10日、玉っ子学習発表会。発表会のための発表というのではなくて、日常の学習をどういう風に発表していくか、総合的な学習とつないだり、そういう内容で工夫された子ども達が輝くいい発表だったなと思いました。

○11月13日、教職員多忙化解消拡大プロジェクトチーム会議。町村教育長会を代表して参加してきました。解決策。言っていることは分かるけれど実際はどうするかが非常に大変だと思いました。私立の高校の代表の方もオブザーバーとして参加しましたが、一番大変になっているのが、部活動の在り方です。私立の代表の発表が当然といえば当然なのですが、全国から部活動をするために高校に入れているのに、部活動無くすとは何事だという保護者の意識が高い中でどうしていったらよいかということ。それから、先生方も大変な状況の中にあるわけですが、時間的に過労死ラインというのをオーバーしている、特に教頭先生の割合が非常に大きいということで、明日から石川町で町村教育長会の研修があるのですが、そこでも大きな話題にしていきます。それから、先生方の仕事量を軽減するといった時の受け皿をどうするかということ。一番は意識改革。先生方はもちろんですが、先生方だけでなく、保護者や地域の方に状況を分かってもらうということをしていかないと実現は難しいかなと思います。また、改善策の一つに校務支援システムの導入がありますが、その会議もありますので、そこでも早期導入を強くお願いしていきたいと思っています。

以上です。

報告第1号について質疑がありましたらお願いします。

2番委員

たびたび話題に上がっている多忙化解消について。一番は「部活動の時間の制限」といったことが言われていますが、先生以外の方がコーチとして入ったりということも実際には始まっていて、いろいろ方法はとれると思うのですが、なかなか先生方も熱心に指導されている方もいるので、それを取り上げてしまうのもどうかと思うのですが、実際にはアクションプランとして来年度くらいから始める予定はあるのでしょうか。

教育長

今年度から始まっています。部活動指導員という制度ができまして、昨日も県の健康教育課長と話してきましたが、予算枠はとってありますが、なかなかそこまでいかないところが多かったようで、記憶が確かではないのですが、8自治体12校の15～16人で、予定の半分くらいしかなかったので、もう少し周知していく必要があるのかなということで方向性は出ています。

それから、国が多忙化解消についてまず取り組んだのは、先生にしかできない仕事、先生以外でもできる仕事という分け方をしました。授業を教えるというのは先生にしかできない仕事ですが、先生以外でもできる仕事をまず線引きしてそれをどうしたらよいか。その先生以外でもできる仕事をサポートするために、国・県ではスクール・サポート・スタッフと言う制度を取り入れ始めました。ところが、人数や何学級以上といった大規模校だけです。その学校では、当然ですが非常によかったということです。そのようなことがあるので、県としては、学校の規模に限らずいろんな条件を総合的に見て必要と思われるところにスタッフを雇っていきましょう。そういった制度をどんどん拡充していくという方向になっていくと思います。

もう一つは、休みの日を作るということがあります。平日の1日、土日の1日で、二本松・本宮・大玉で今年からやっています。それから、一斉下校の日も作ってあります。その日は子ども達を早く帰して、そこで先生方が「先生にしかできない仕事」をしたり、子ども達は家庭学習をする日を設けるとなったので、私は家庭学習をするといっても、それだけではなくもっといろいろな活動にしていかなければいけないとご理解をいただけないのではないのでしょうかと、昨日の会議で意見として申し上げてきたのですが、そういった形でできることからやっていく。特効薬はないと思うんです。ただ、深刻な問題は先程から申し上げておりますように、非常に教員のイメージが良くない。先生になりたがらない。採用の倍率がどんどん下がってきているという実態に直面しています。

2番委員

平日1日休み、土日1日休み、一斉下校の日とありますが、平日1日と一斉下校の日が重複しているようですが。

教育長

学校の事情があって、例えば体育館でやる部活がいっぱいあり、ローテーションで活動日をずらさないといけないとなると一斉下校は無理になります。小規模校のスクールバスを出しているところで、そうしてしまうとなかなかかわないということで、それは事情に応じてやっていくことが必要なのではない

かとの話もありました。

昨日の多忙化解消の会議の中に県のPTA連合会の会長さんもいらっしゃって、保護者の意識はまだまだですよという話でした。具体例を出してお話されていましたが、休みの日の朝コンビニなどに行くと、先生が部活の指導で早い時間に来ているとのこと。近くでやるとばれてしまうから遠くで練習試合をやるそうです。部活を設けないといっても実際はそういった実態があるので、そのところをどういうふうに理解してもらうか、そこは避けては通れないと思います。休みを設けただけでは済まないでしょうという意見もありました。県の教育次長も、部活動の在り方を考えていくうえでは保護者の理解を得ないとなかなか難しいでしょうと。ですから非常に難しい問題なので、まずその趣旨を理解してもらって実行に移すということを根気強くやっていかなくてはいけないとのお話がありまして、大きな課題だと思っています。

加えて来年度、授業日数が7日減ります。これは後でまた話題にしたいと思いますが、深刻な問題だと思っています。指導要領が新しく出来て、普通だったら授業時数があるところを削って、そこに新しいものに加えていくのですが、どんどん加えてしまっただけで目いっぱいになったところにこの問題が出てきてということになっていますので、先日、東京で理事会があった時に、文科省の行政説明があり、その中で、国では働き方改革と言われていますが、主戦場は文科省だと思いますと、そういう言い方をされました。先生にしかできない仕事という国がやるべきこと、県がやること、それから我々教育委員会がやること、学校がやることと整理しながら、完全に切り分けはできませんが、そういったことでしていくということ。ただ意識はかなり浸透してきたというのが調査結果から出てきたという話を昨日はいただいてきました。

1 番委員

文科省ばかりではなく、国の省庁は現場を知らずに計画ばかり作っていますよね。実現はできないと思いますが、そういった職員が直接子ども達や一般の人たちに関わっている現場に3年ぐらい働かせて現場を見せて省庁に入ってもらった方がいいのではないかと思います。何年か前はゆとり教育で学力が落ちたとかがありましたよね。今度は学力を伸ばさないといけない。そんなことをしているから後戻りしているんです。やはりコミュニティ・スクールみたいに、教育をどうするんだということで大きな柱を立ててやっていかないといけないと思います。あっちへ行きこっちへ行きではいけないと思います。例えば、極端に先生が大変だからということで部活を無くした場合、おそらくスポーツ関係の選手はいなくなってしまうと思います。やはりスポ少から中学高校の部活、優秀な人間は学校だけでなくいろんなところに行ってやっているわけですから、優秀な子どもが減ってしまうのではないのかなと思いますので、やはり部活というのは大事なのではないかと思います。

教育長

高校の校長会長の方からアンケート調査の話があって、いろいろな提言をいただいた中で、スポーツの意義というのは本当に大事なので、各競技団体と協

定を結んで、そこの理解をしていかななくてはいけないということが1つ出てきました。それから、先生方の意識を高めていくということと、地域との関係など外部に対してもっと働きかけをしていかなければいけないでしょうと。だからやはり時間がかかると思いますが、そういったことをしていかななくてはならない、そういう方向で確認しながら進めていくということになっていくと思います。1週間くらい前の新聞に文化活動も制限すると出ていました。これは先日の文科省からの話にもありました。国全体で、中体連をどうするかとか、文化活動をどうするかということにも当然メスを入れていかななくてはならないと。確かに中体連をどうするかと言っても、大玉村だけで話していても仕方ないし、これは県や国がどうするかという方向で考えていかないと難しい部分があると思います。指導要領はだいたい10年ごとに改訂されてきたのですが、その方向性は時計の振り子みたいになっているとよく言われていて、これまではまさにその連続でした。しかし、今回は振り子が端まで来て、戻るのかと思ったらさらに上がったということなんです。ですから、それと多忙化の問題がちょうど重なってしまったということです。非常に難しさがあるのかなと、そんなふうに思っています。村の教育委員会でも、部活動指導員の規程について承認いただきましたが、ああいった形で取り入れられるものはどんどんやっていて、多忙化解消や子ども達のためになっていけばいいと思います。

他にございますか。

教育委員

「質疑なし」

教育長

では報告第1号については承認いただきました。

報告第2号 教育総務課報告事項

教育総務課長

まずは4ページをご覧ください。園児・児童・生徒数の在籍状況ですが、先月からの変更はございません。来年度の両幼稚園の入園申し込み状況ですが、入園が見込まれる子どもについて、まだ申し込みがなされていない家庭もありますが、入園しないとはっきりしている家庭を除きますと、現在、玉井大山両幼稚園で最大でどちらも50人という状況でございます。大山がだいぶ増えて玉井と同じ数となっています。また、辞退された方につきましては、体の状況とか、転入されたが前に通われていた認定子ども園にそのまま通わせるなど、はっきりした理由がある家庭を除きますと最大で50人ずつの見込みになるという状況です。

3ページをご覧ください。事務事業の主だったものについて報告させていただきます。

○10月25日、玉井小オープンスクールとコミュニティ・スクール委員会がありました。この日は泉崎村の教育委員会が視察研修されました。

○10月29日、大玉村虐待防止地域協議会支援担当者会議。こちらにつきましては、男子生徒の状況について内部の会議を開いております。

○11月1日、子育て支援庁内関係課会議となっておりますが、実際は5日に変

更になっていますので訂正をお願いします。こちらにつきましては関係課等で、子育て支援センターの在り方について協議を行いました。

○11月5日、小国町教育委員会コミュニティ・スクール委員会視察研修がありました。小国町の教育長はじめ教育委員さんがお見えになりまして、村からコミュニティ・スクール委員会の説明を行いまして、意見交換等も実施しました。

○11月12日、県市町村教育委員会連絡協議会県北ブロック研修会。委員の皆さんご出席ありがとうございました。その日の夜ですが、子ども子育て会議がありまして、この会議につきましては須藤委員も委員として出席していただいておりますが、健康福祉課所管の諮問に対する会議ということで、内容につきましては、保育所の定員、こども子育て支援事業計画が5か年計画であるようですが、31年度までの計画になっており、今後新たに計画を策定するにあたってのニーズ調査、要はアンケート調査を実施するというので、そのアンケートの内容等について諮問があり、ご意見をいただきました。また、その他としまして、先程申し上げました子育て支援センターの建設に向けて委員の皆さんからそれぞれご意見をいただきました。

私からの報告は以上です。

教育長

質問等あればお願いいたします。

3番委員

11月12日の子ども子育て会議に教育委員として出席させていただいたのですが、子育て支援センターについて、以前から、お母さん方から本宮市のえぽかや白沢にあるキッズパークのような施設が村内にあるととても助かるという声を常々聞いていたので、そういった計画があるのだなと思って会議に出席していたのですが、意外とPTA関係で今回はお父さん方が多く出席されていて、お父さん方からは無駄の無いようにとか、そういう意見が多くあって、母親側と父親側のギャップを感じて、私は発言できないまま会議が終了してしまったのですが、今後担当の方にはいろんな施設を視察していただいて、お父様方が言うように無駄の無いようにという件とか、お母様方の立場に立ってこういうものが必要だという意見に耳を傾けてぜひ進めていただきたいなと思いました。感想です。

1番委員

具体的にはどのような中身の会議なのですか。

教育総務課長

そもそも子ども子育て支援法が施行になって、その後にできた会議ですが、先程諮問の内容を申し上げた通り定員関係。今回、教育委員会は去年変更しまして、幼稚園の定員はそれぞれ180人ということで、来年の見込みも含めますとまだ定員を満たすような状況ではないので諮問にはかけませんでしたが、保育所関係で子供一人に対する必要面積とか施設の面積が決まっているのですが、その場合の定員の余裕や、現在の待機児童、そういった部分で適正な定員はどのくらいかを委員に諮問して意見を聞いたり、子ども子育て会議に関する様々な計画を作成する前にその計画の内容について諮問したり、いろいろ意見

を聞いて計画に反映するというのがこの委員会の主な役割となっています。

1 番委員 ありがとうございます。

教育長 幼稚園の3年保育を実施して、保育所でのスペースの余裕がかなり出てくるのかなと思われたのですが、思った以上に該当の子どもの数が増えてきて、そこがまたままならない状況になってきているという現状です。

2 番委員 両幼稚園50人ですからね。

教育総務課長 現在の住基登録者の対象者で言うと大山が54人、玉井が55ですね。またさらに転入等があればそれ以上になる可能性もあります。

教育長 大山と玉井の割合が大体4：6だったのですが、5：5というのは初めてですね。

4 番委員 村の広報か何かで見たのですが、保育所の0歳児はどのくらい可能なのでしょうか。0歳児の子ども何人に対して先生何人と決まっていますよね。

教育長 3人に1人です。ですから保育士数が今度は大変になってきます。

教育総務課長 会議の中では、来年度の保育士不足見込みは5人という話でした。ですから5人は新たに募集しなくてはなりません。0歳児が増えればそれだけ必要になる先生の数も増えてくるということです。

2 番委員 今後子どもの数は増えていくようですか。

教育総務課長 しばらくは微増の状況が続くかなとは思いますが、数年後には落ち着くのかなと思われます。

4 番委員 先日、玉っ子発表会を見に行くために改善センターに車を停めて小学校まで歩いて行ったのですが、歩道に白線は引いてあるのですが、この幅の道を子ども達が並んで通学するのは危険なのではないかと感じました。帰りは反対側を通りますよね。土手側の方がすごく狭くてトラックなど交通量もとても多くて不安があったのですが、通学路の改善は考えられているのか、お聞きしたいです。

教育総務課長 おっしゃる通り、県道部分は以前から懸念されていて、相当前から県に歩道の設置を要望していましたが、現実的にはなかなか設置されないということで、引き続き村の方でも要望を行っていきます。

4 番委員 事故が起きてからの対応では遅いと思います。片側だけでも広げて歩道を作るとか、大山の田んぼ通りは通学路としてはずいぶん改善されているなと思います。村の道路という意識で子ども達は歩いていて、運転する方には県道という意識で飛ばしてくるので、実際に歩いていてとても危ないなと感じました。

1 番委員 何年も前から話は出ているんですよ。岳道路とあとは玉井の町の中。町の中は両方とも人家があるために難しいのでしょうけれど。小学校から地蔵面に向かう方は歩道ができましたが、改善センター側ですよ。片側だけでも歩道があればいいのですが。20年ぐらい前になりますかね。小学生が下校中に、車と衝突した事故があって、背中ランドセルがクッションになってけがはなかったのですが、実際にそういう事がありました。教育委員会の方からも話し

てもらえないですね。

教育長

交通対策の会議があり、校長先生方や私も出席しますので、改めて話してみます。県道なので村ではどうしようもないんですよ。優先道路があって、村で最優先にしたいというのは村民グラウンドから大橋方面のカーブのところを直したいというのが優先の様です。ここもお願いしているのですが、今話があったような形で今進んでいる状況です。

4 番委員

岳から本宮に行くコースになっていて、交通量も多いですね。

1 番委員

かなり飛ばしてくるし交通量も多いし。

教育長

交通対策の会議で再度話してみます。

他にございますか。

よろしいでしょうか。それでは報告第 2 号について承認いただきました。

報告第 3 号 生涯学習課報告事項

生涯学習課長

生涯学習課報告事項、主だったものについて報告させていただきます。

○10月24日、村民体育館バスケット上下調節装置取付工事見積合せを行いました。二本松市の文化堂スポーツが、138万円で落札しまして、今月末には取り付けが終わる予定となっております。練習場所に苦勞していましたスポーツ少年団のミニバスケットボールのチームが、今度は男女合同で練習することができるようになります。

○10月27日、第36回大玉村文化祭開会式。教育長からもありました通り、この日から11月5日まで10日間開催されました。総入場者数が約1500人で、作品出品数は昨年を200点ほど上回る1698点が出品されました。今年度から地域おこし協力隊員の活動の状況を紹介するコーナーを設けさせていただきました。

○11月3日、スポーツクラブ会員交流会、同日、文化のつどいで読売巨人軍走塁コーチの鈴木尚広さんの講演会が開催されました。

○11月4日、第30回あだたら健康マラソン大会。皆様には朝早くからたいへんお世話になりました。エントリー数が1000人、完走者が928人でした。ゲストランナーに鈴木尚広さんと菊池日出子さんをお招きして、子どもたちと一緒に走っていただき大会を盛り上げていただきました。

○11月5日、ふくしま駅伝大玉村チーム結団式を行いました。6月から練習を重ねてきて、いよいよ本番となります。昨年の成績を上回るよう選手一丸となって頑張っております。皆さんの応援よろしくお願いします。昨日、最終の定期練習があったのですが、その中で、チラシの中の5区、高校生の渡辺拓磨君が走る予定だったのですが、体調が思わしくないということで7区の遠藤春斗君が5区に回りまして、7区の中学生区間を補欠の上松聖悟君に変更しました。

○11月8日、大山小学校世代間交流事業といたしまして、昔遊び体験を行いました。老人クラブの皆さん、学校支援ボランティアさんの協力で子ども

達もたいへん楽しんで体験することができました。

以上簡単ですが生涯学習課の報告とさせていただきます。

教育長

ご質問等ありましたらお願いします。

4 番委員

世代間交流の内容はどのようなものでしょうか。

生涯学習課長

昔遊びという事で、竹馬、ばか駒、福笑い、おはじき、輪投げ、たが回しなどがありました。玉井小学校では11月20日に実施を予定しています。

教育長

他にございますか。よろしいでしょうか。それでは報告第3号について承認いただきました。

日程第4 議案第20号 平成30年度要保護・準要保護児童生徒認定について議題とします。本案件は非公開にすべき案件と考えられますので、委員の皆様にお諮りいたします。本案は非公開とすることにご異議ありませんか。

教育委員

「(全員) 異議なし」

教育長

出席者の3分の2以上の賛成でありますので、議案第20号は非公開とすることに決定しました。

(議案第20号について非公開で審議し認定)

教育長

日程第5 今後の日程について

8ページをご覧ください。主だったものです。

○11月18日、第30回ふくしま駅伝大会があります。皆様応援よろしくをお願いします。

○11月21日、平成31年度教育委員会関係行事等調整会議。先ほどお話ししました通り、来年度は厳しい日程になってきますので、今年度の行事を振り返って来年どうしたらよいか、関係団体等を含めて行事調整をしたいと思います。

○11月24日、学生講師との懇談。今年全部で18回実施しております未来塾で、39名の中学生に指導していただいた学生に慰労会を兼ねて懇談会を計画しました。

○12月3日、コミュニティ・スクール委員会研修となっているのですが、この前、小国町が視察に来た時にもいろいろと話題となった中に学校評価という大きな役割が出て来ました。学校の教育活動について評価をするということが入ってきます。評価委員さんがコミュニティ・スクール委員を兼ねるという形にしましたので、ここはすごく整理できたと思います。そうしたときにコミュニティ・スクール委員会の皆さんの話を聞くと、評価はすごく気を使うといいます。その評価の在り方についてぜひ研修したいというお話がありましたので、それについての研修という形でのコミュニティ・スクール委員会を設けました。

○12月4日から12月の定例議会が始まります。7日までの予定です。

○12月5日、組織打合せ。人事の動きが始まってきて、これから3回ほど打合せをしながら来年度に向かって入念に詰めていきたいと思っています。

○12月11日、「友好の翼」結団式。昨年度、大竹国民中学を訪ねて姉妹校締結をしてきました。今回34名の希望者全員を派遣したいということで担当の方に配慮していただきました。2月に大竹国民中学から中学生をこちらに招いてホームステイをしていただく。今回は大玉村と桃園市蘆竹区、桃園市は人口が200万人ほどの大規模な市なので、大玉村との友好都市ということと難しいということで、蘆竹区という所と大玉村で協定を結びたいということで、村長も一緒に行きます。

○12月13・14日、教育委員会の研修お世話になります。この後見学希望地を出していいいただきたいと思います。

○12月21日、第2学期終業式で12月25日～1月7日まで冬休みとなります。

以上が12月28日までの主な行事予定です。何かご質問がありましたらお願いします。

教育委員 「質疑なし」

教育長 それでは日程第6、その他なにかありましたらお願いします。

教育総務課長 私の方から報告が1点あります。スクールバスの更新について。11月19日に見積もり合わせをして業者を選定したいと思います。その後、議決案件になってくるものですから、12月議会に提案して、納車までに約3～4カ月ということですので、納期は3月末ということで今事務手続きを進めています。車種につきましては、4WDを出しているところが三菱しかなく、そのため三菱限定にはなってしまうのですが、見積もり合わせを実施して、12月議会が12月7日までなので、そこで議決いただければ即契約をして、3月末には納車の予定で進めてまいります。

教育長 新年度から使えるということですね。四輪駆動が絶対条件で、四駆を出しているのが無いからどうしようと心配したのですが、三菱だけ出しているということで安心しました。

その他ありますか。

生涯学習課長 「おおたまを学ぶ」の紙ベースの資料をお配りしていますが、今のところこういう形で進んでいるということで、研吾君が示しているものです。

教育長 では資料を見ていただいて、研吾君にいろいろ質問したい事もあると思いますので、あと学校の方には送っていて、使う立場からどうかなということで検討します。研吾君の方から説明してもらって、質問などありましたらお答えしてもらいましょう。

佐藤研吾 「おおたまを学ぶ」の小中学生が授業で使うパソコンで見られる資料を作っ

ていまして、デザインの草案を資料としてお渡ししておりますが、簡単に説明します。まず左の方から「おおたまを学ぶ」と大きくタイトルがあって、大玉の風景の画像が並んでいて、左側に「自然」「歴史」「民族・伝統」「文化」「産業」の5項目のボタンが並んでいます。子ども達の授業ではこのボタンを押して、それぞれの該当する記事に画面が移ります。実際子どもたちはタブレット端末を使って指で操作できるようになるので、「自然」ボタンをタッチすると下の「地理」「植生」「気候」「災害」が並んでいる画面に移って、その中にさらに地理や災害などそれぞれの記事も並びます。例えば「地理」だと「安達太良山」「大名倉山」「安達太良川」などといった項目の画像が順に並んでいます。授業では、先生方が「次に地理ボタンを押してください。」とか「災害ボタンを押してください。」といった形で子ども達に指示をして、ボタンを押したらさらに地理の方に画面が少し下にずれてみんなが見られるようになるし、災害ボタンを押すと、ページ自体がもっと長くて地理から災害まで続いているのですが、災害の記事に画面が移って災害の記事一覧が出ます。このような形で、基本的にはボタンを押して記事にたどり着くといった形で、該当する記事があったらボタンを押して、最後には右側にあるような個別の記事のページに飛びます。今想定しているのは、まずタイトルがあって、この場合安達太良山についての記事ですが、その上には、安達太良山が何の分類に属しているのかが表示されています。これは自分がこのページに来るまでに操作してきたものを表すのですが、安達太良山の場合は「自然」のカテゴリの中であって、さらに「地理」の中にある項目だよというのが示されていて、安達太良山の大きい画像。画像が1枚なのか2枚なのか、それはいくらでもつけられるので、そこは編集が必要です。あとは安達太良山を説明する文章。その下に動画と場所の地図を載せようと考えています。動画は産業課のものが使えるか調整していたり、もし使えなかったり不足している場合には教育委員会の方で今までも何回かやっているのですが、古村さんというカメラマンさんに頼んで映像を撮影していまして、そういった映像をここに載せます。地図はグーグルのプログラムを使うのですが、安達太良山でしたらそこがピンとして表示されていて、予定としては大玉村全体に、「おおたまを学ぶ」に入っている項目、改善センターであったり役場を説明するページもあるので、それぞれの多くが場所の情報を持っているので、それを一つの地図の中にマッピングをしてピンを立てて一度に見られるような地図ページも作ろうとしていまして、その小さい画面がここに表示されるという形になっています。今申し上げた地図画面は、タイトルページの右上に「地図でさがす」という小さいボタンを作る予定でして、ここを押すと大玉村全体の地図が出て、記事にそれぞれ番号を振るかはまだ分からないのですが、番号が振ってあったらそれぞれの場所に番号が載って、地図からでも記事のページにたどり着くことができるというような形で全体の構成を考えております。

教育長 ありがとうございます。今の説明について確認したいことなどはありませんか。

2 番委員 地図はローカルでは持っていないんですか。グーグルから引っ張ってきているということは、インターネットにつながっていないと使えないのでしょうか。

佐藤研吾 そうですね。この教材自体もインターネットに載せて学校からインターネットにアクセスして見るということにしまして、以前学校の方で既に配られているコンピューター室の端末はインターネットに繋がっていて、子ども達は実際にヤフーキッズという子供向けの検索エンジンを使ったりしているそうなので、データ環境等は問題ないかなと思います。

2 番委員 コンテンツ自体はどこかサーバーに置いてあるということですか。

佐藤研吾 そうです。よって、これは公に公開できるものでもあるので、大玉村の広報としての発信にも使えるデータベースになるのかなと思います。公開であったり記事のアップロードの際には、政策推進課との調整が必要になってくるのかなと思います。

教育長 学校で使うときに意見が出てくると思うのですが、単元の中に取り込むというやり方もできますか。例えば大玉の自然を調べたいという時、生活科でやっている村探検とか、そういう時にここここを探検したいという場所がありますよね。そこを見せるだけではなくて、そこに対して学習したいという意欲付けにしたり、まとめる時にこれを使ってもう一回まとめるという使い方をイメージしていたのですが、そういうことは可能ですか。

佐藤研吾 該当する記事がどこにあるかというのを先生の方から生徒に「こういう手順で探せば調べたい記事が見つかりますよ」という、別の形で教えることができれば資料として使えると思います。例えば、生活科であるとかでこういった教材の使い方が決まってきたら、生活科として「お気に入りページ」のような形で、必要なページを抜粋した一覧をこの画面の中に付け足すこともできます。今、私が作ろうとしているものにはそういった機能を入れていないのですが、来年度以降の先生方との話し合いで、お気に入りをどうするということが決まってくると思うので、そういったことが拡張機能として今後出てくるかなと思います。

教育長 ありがとうございます。このあと、よろしくお願いします。

 他にありますか。

教育委員 「質疑なし」

教育長 日程第 7、次回の教育委員会は 12 月 13 日、ちょっと忙しいのですが 8 時半からということでお願いいたします。

 以上で閉会とさせていただきます。

 ありがとうございました。